

メリル・ストリープ

ジェレミー・アイアンズ

私が愛したひとは  
たったひとり。  
でも、人は私を娼婦と呼ぶ...



Meryl Streep Jeremy Irons

The French  
Lieutenant's  
Woman

MERYL STREEP JEREMY IRONS  
KARL REISZ THE FRENCH LIEUTENANT'S WOMAN  
LEO MCKERN HAROLD PINTER JOHN FOWLES  
CARL DAVIS LEON CLORE KARL REISZ

PHOTOGRAPHY BY MAUREEN LAMBRAY

# フランス軍中尉の女

メリル・ストリープ\*ジェレミー・アイアンズ

カレル・ライス作品「フランス軍中尉の女」\*レオ・マッカーン\*脚本 Harold Pinter

原作 John Fowles (サンリオ出版刊) \*音楽 Carl Davis (サントラ盤/ビクターレコード) \*製作 Leon Clore \*監督 Karl Reisz

<カラー作品> United Artists ユナイテッド映画



**\*哀しみの  
バイオリン・テーマにのつて  
いま、女の情念が燃えあがる**

英国ビクトリア朝1867年。ひなびた漁村ライム・レジスの嵐の埠頭に立たずむ黒衣の女。そのミステリアスなシルエットに若き英国紳士が魅せられた時、この妖しくも哀しい恋のドラマは始まる。

原作は69年に出版され、18ヶ国語に訳されて50万部を売ったジョン・ファウルズのベストセラー小説。フランス軍中尉の女」とさげすまされながらも、一途な情念の世界を生きた或る薄幸な女の愛の本質。かつてフレッド・ジンネマン、マイク・ニコルズらの名匠が映像化を試みて果せなかった愛の問題作である。

**\*愛の映画史上、最高に  
ドラマチックな名作が誕生した**

監督は「土曜の夜と日曜の朝」「裸足のイサドラ」などの佳作で知られるカレル・ライス。脚本は英劇壇の重鎮であるハロルド・ピンター（「召使い」）。彼はこの一見古風なラブストーリーにユニークな仕掛けをほどこした劇中劇の形で現代の俳優カップルが過去の愛のドラマを演じ、撮影進行と共に二つの愛が歳月を超えて永遠の次元に統合されるというもの。かつてこの種のロマンチック作品には見られなかった鮮烈な手法とミステリー・タッチ。またひとつ、愛のドラマに名作が生まれた。



Meryl Streep Jeremy Irons  
*The French Lieutenant's Woman*

**〈キャスト〉**

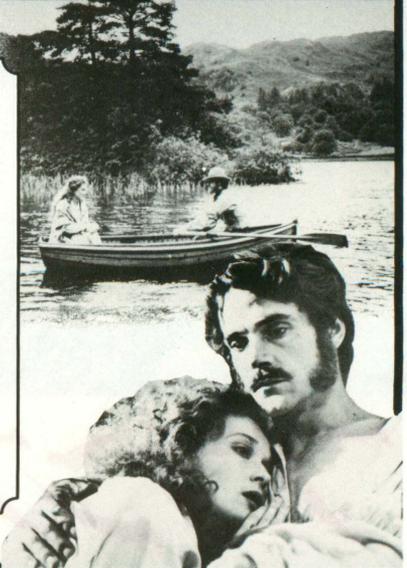
サラ／アンナ……………メリル・ストリープ  
チャールズ／マイク……………ジェレミー・アイアンズ  
アーネスティナ……………リンジー・バクスター  
グローガン医師……………レオ・マッカーン

**〈スタッフ〉**

監督……………カレル・ライス  
脚本……………ハロルド・ピンター  
原作……………ジョン・ファウルズ  
撮影……………フレディ・フランシス  
音楽……………カール・デビス

# フランス軍中尉の女

〈カラー作品〉 United Artists ユナイテッド映画



**\*メリル・ストリープ  
大女優への華麗なる船出**

光沢を放つスターに飢えていた映画界にメリル・ストリープはいのちを吹きこんだ。  
——タイムヘリチャード・コーリス

ヒロインが二人いる。過去のヒロイン、サラと現代のアンナ。この二つを演じ分けるメリル・ストリープの憑かれたような熱演がドラマの白眉。米タイム誌は9頁の大特集を組んで、その舞台で鍛えた演技力の確かさを絶賛。「ディア・ハンター」「クレイマー・クレイマー」と、着実に大女優へのステップを踏む彼女のこれは輝かしいターニング・ポイントだ。

共演は英国劇壇期待の若手ジェレミー・アイアンズ。その限りなく愁いにみちた瞳で、メリルのパッションネットな演技を見事に受けとめる。

撮影は「エレファント・マン」の名手フレディ・フランシス。音楽は舞台・クラシック畑の新人カール・デビス。その劇的バイオリン・テーマが素晴らしい。

**27日(土)ロードショー**

伊勢丹前 新宿文化シネマ2 (354) 2098  
シネ・タウン

特別鑑賞券 ¥1200 (当 一般 ¥1500 の処) 発売中！  
学生 ¥1300

連日	11:15	1:45	4:15	6:45
----	-------	------	------	------